

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	物価高騰対応生活応援商品券発行事業 生活応援商品券発行事業									
担当課	住民課									
事業概要	コロナ禍において物価高騰に直面する状況を踏まえ、期間を定めて使用できる地域振興券を交付することにより、住民生活の維持だけでなく、村内における消費拡大による地域経済の活性化を図る。									
成果目標	住民生活の維持及び地域経済の活性化を図る。執行率99%を目標とする。（令和3年度同事業執行率97%）									
事業実施内容	<p>【対象者】 令和4年7月28日（基準日）に、村内に住民基本台帳に登録されている者。</p> <p>【利用期間】 令和4年8月1日 ～ 令和5年1月31日</p> <p>【取扱店舗換金期間】 令和4年8月1日 ～ 令和5年2月17日</p> <p>【取扱店】 15件（宿泊施設3件、食品・日用品4件、加工食品・飲食3件、自動車関連2件、温泉1件、その他2件（美容室・森林組合））</p> <p>【発行額】 6,975,000円（465人×15,000円）世帯数 300世帯</p> <p>【換金実績】 6,962,500円 未換金 12,500円 換金率 99.8%</p> <p>【事業費内訳】</p> <table> <tr> <td>商品券印刷代</td> <td>予算額380,000円</td> <td>決算額343,200円</td> </tr> <tr> <td>レターパック購入代</td> <td>予算額172,000円</td> <td>決算額171,600円</td> </tr> <tr> <td>商品券換金代</td> <td>予算額7,200,000円</td> <td>決算額6,962,500円</td> </tr> </table>	商品券印刷代	予算額380,000円	決算額343,200円	レターパック購入代	予算額172,000円	決算額171,600円	商品券換金代	予算額7,200,000円	決算額6,962,500円
商品券印刷代	予算額380,000円	決算額343,200円								
レターパック購入代	予算額172,000円	決算額171,600円								
商品券換金代	予算額7,200,000円	決算額6,962,500円								

<p>担当課による 効果検証</p>	<p>1 回目は、コロナ禍における原油価格の高騰・物価上昇により、生活への負担が増加していることから、地元消費の喚起と村民の生活支援に繋がるものとして全村民対象に商品券の配布を実施した。発行額全体の99.8%、総額 6,962,500円が村内で消費され、当初設定した成果目標を達成した。</p> <p>また、年間を通して16百万円あまりの村内消費喚起が目に見えて行えた事についても、村内事業者に対する支援として効果があったことが窺える。</p>	
<p>有識者（住民代表者） による効果検証</p>	<p>コロナ禍における原油価格の高騰・物価上昇により、生活への負担が増加している中、地域振興券は日常生活の大きな支援となり、非常に効果的であったと考える。また、現金給付に比べ確実に村内消費が期待できることから、村内事業者に対しても、大きな支援となったと考える。</p>	
<p>事業費（円）</p>		<p>令和4年度</p>
<p>予算額</p>		<p>7,752,000</p>
<p>決算額</p>		<p>7,477,300</p>
<p>決算額の財源</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p>	<p>7,236,733</p>
	<p>その他財源（ ）</p>	<p>0</p>
	<p>一般財源</p>	<p>240,567</p>

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	水道料金減免事業	
担当課	建設課	
事業概要	コロナ禍において物価高騰に直面する状況を踏まえ、住民や地域事業者の生活支援及び経済的負担に対する支援。	
成果目標	1世帯あたり年間13,200円の経済的負担の軽減を行い、生活支援を図る。	
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●実施期間：令和4年6月～令和5年3月 ●支援対象：水道料金の基本料金を免除 ※水道基本料金 1ヵ月当たり：1,320円 ●合計支援額：5,565,120円 	
担当課による効果検証	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている村民や地域事業者の水道基本料金を免除することにより、経済的負担を軽減することができたと考える。	
有識者（住民代表者）による効果検証	物価高騰に直面し、生活の負担が増す中、水道基本料金の減免は生活費の負担軽減に直接的に効果があった。本事業は以前より継続して実施されているため、基本料金が減免された水道料金が村民にとってのスタンダードになってしまい、基本料金が減免されなくなった現在、生活費の負担増を感じているのではないかと懸念する。	
	事業費（円）	令和4年度
	予算額	5,624,000
	決算額	5,565,120
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	5,289,314
	その他財源（ ）	0
	一般財源	275,806

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	デジタル会議システム導入事業
担当課	総務課
事業概要	新型コロナウイルス感染症対策として、村民や職員等が多く使用する会議室で利用できるマイクシステムを導入することで、接触や飛沫感染防止を徹底する。
成果目標	マイクを使用した会議実施回数 20回 会議参加者内での2次感染0
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●購入品：マイクユニット16台、アクセソ^レィント1台、充電器2台、スイッチング^{ハブ}1台、制御用アクセソ^レィント1台、制御用タブ^レット1台、各種ケーブル、収納ケース2個 ●納品日：令和4年12月13日 ●使用実績：R4年12月：2回、R5年1月：1回、R5年2月：2回、R5年3月：3回
担当課による効果検証	<p>令和4年12月13日納品から令和5年3月31日までの間に8回使用し、会議参加者間におけるマイクを介しての接触や飛沫感染を防止することができ、感染拡大の防止に効果があったと考える。</p> <p>落札業者とは令和4年8月26日に契約したが、世界的な半導体不足による影響で納品が遅れたため、想定より利用回数が少なくなり、成果目標の20回に達しなかった。</p>
有識者（住民代表者）による効果検証	<p>マイクの共有が不要になることで、感染リスクを少しでも軽減できることは、今後会議の開催が増加することが予想される中でも安心感があると考えます。他方、世界情勢に伴う納品遅延はやむを得ないことであり、今後の積極的な利用に期待したい。</p>

事業費（円）		令和4年度
予算額		7,540,000
決算額		6,395,400
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	6,300,837
	その他財源（ ）	0
	一般財源	94,563

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	自宅療養支援サービス事業	
担当課	保健福祉課	
事業概要	新型コロナウイルス感染症陽性者のうち、自宅療養者や濃厚接触者等で、保健所から自宅療養や自宅待機を要請され、外出できなくなった村民のうち、希望者に対して食料品等の置き配を行う。	
成果目標	自宅療養者等の療養期間中の食料支援希望者全員に配布する	
事業実施内容	<p>新型コロナウイルス感染症陽性者のうち、自宅療養者や濃厚接触者等で、保健所から自宅療養や自宅待機を要請され、外出できなくなった村民のうち、希望者に対して5日分の食料品等の置き配を行なった。</p> <p>購入数：50名分 購入品目：レトルト食品（カレー・丼の素・スープ・ごはん等）・スポーツドリンク・栄養補助食品（クッキータイプ）・ティッシュ・マスク 配布実績：7世帯 17人分</p>	
担当課による効果検証	自宅療養者への食料品の確保が行えた。また、感染者の不用意な外出を防ぎ、二次感染の防止ができたと考える。	
有識者（住民代表者）による効果検証	療養期間中に食料に不自由しないということは、独居の高齢者も多く本村においては、非常に効果的かつ直接的な支援であったと考える。	
事業費（円）		令和4年度
予算額		198,000
決算額		129,837
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	127,917
	その他財源（ ）	0
	一般財源	1,920

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	抗原検査キット配布事業	
担当課	保健福祉課	
事業概要	抗原検査キットを配布することで、新型コロナウイルス感染症への不安を解消するとともに、感染の早期発見と感染拡大防止に資することを目的とする。	
成果目標	感染の早期発見及び村内における2次感染0	
事業実施内容	<p>抗原検査キットを小学生以上の村民（高齢者施設・障害者施設入所者・長期入院者を除く）に2キット配布をした。</p> <p>購入数：88箱（10テスト入り）</p> <p>配布日：令和4年8月3日～</p> <p>配布実績：282世帯 440名分</p>	
担当課による効果検証	抗原検査キットを使用し感染の早期発見を行えることで感染への不安を軽減し、二次感染予防に貢献できたと考える。	
有識者（住民代表者）による効果検証	検査キットが入手しにくい環境である中、検査キットが配布されたことは、非常に安心感があった。特に配布された時期は、村内で感染者が増加傾向にあった時期であったため、より安心感につながったと考える。	
事業費（円）		令和4年度
予算額		1,803,000
決算額		1,697,285
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,672,190
	その他財源（ ）	0
	一般財源	25,095

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	生涯学習センターグラウンド遊具設置事業	
担当課	教育委員会	
事業概要	生涯学習センターは幅広い世代が身近に出かけることができる施設であり、子ども向けの機能として施設内グラウンドでは、遊具を2台設置している。アフターコロナ、ウィズコロナに向けた子どもたちの社会活動の再開を促進するため、グラウンド内に遊具を追加で設置し当該施設の機能向上を図るとともに、子どもの利用の分散によるコロナ感染拡大防止を図る。	
成果目標	遊具を新たに2個設置し、子どもの社会活動再開を促進する。	
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●設置完了：令和4年10月31日 ●広報時期：広報かみきたやま（令和4年11月） ●事業額：木製遊具2個 540,100円 運搬設置費 165,000円 合計 705,100円 	
担当課による効果検証	遊具の数を増やすことで、利用者の三密回避が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低減された。 また当該施設で遊ぶ子どもが増え、これまで以上に活用されるようになり、子どもたちの社会活動再開の促進にもつながったと考える。	
有識者（住民代表者）による効果検証	新たな遊具設置により、子どもたちの社会活動再開がさらに促進され、感染防止だけでなく、病気に負けない体力がつくことに期待したい。	
	事業費（円）	令和4年度
	予算額	706,000
	決算額	705,100
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	694,674
	その他財源（ ）	0
	一般財源	10,426

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	和佐又山運営準備支援等事業
担当課	企画政策課
事業概要	新型コロナウイルス感染防止対策を考慮した開放的な空間として、密になりにくい登山やキャンプ等のアウトドアを楽しむ場所を上北山村の和佐又山に整備する。今後、アフターコロナ、ウイズコロナに向けて、外出自粛や巣ごもり等の影響により落ち込んだ来訪者の減少を回復させるため、豊富な自然を活かした魅力的な場所として運営するために、案内サインのデザイン等の作成や広報ツールデザインの制作、運営準備支援を委託する。
成果目標	2019年に閉鎖された和佐又山ヒュッテの年間利用者（2018年）が5700人であったことから、それを基に年間6,000人の目標を設定した。

<p>事業実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●案内サインのデザインの検討 キャンプ場の入口、林道和佐又線入口に設置する看板のデザインの検討を行った。 ●広報ツールデザインの制作 WEBサイト（ティザーサイト）の制作、SNSの立ち上げを行った。また、それらに使用する写真の撮影を行った。その他、キャンプ場の外部予約システムである「なっぶ」の導入に向けた支援、ロゴを使ったノベルティの制作を行った。 ●運営準備支援 役場、ツーリズムかみきた、事業者との定例会議を月2回程度開催。各事業の検討、進捗状況の確認、支援業務を行った。また、運営スタッフの育成支援として、キャンプ場スタッフが身につけるべきスキルの取得のため、講習や研修に参加した。その他、モニターイベントを開催し、参加者からの意見聴取を行った。併せて新たな運営スタッフの募集も行った。 ●飲食メニューの開発 キャンプ場で提供する飲食物について、フードコーディネーターに協力を依頼し、地域の食に関するヒアリング及びメニュー開発を行った。 ●物販、レンタル品について基本コンセプトや「Leave no trace」の考え方を前提としながら、想定される客層を想定し、購入物のリスト化を行った。
<p>担当課による 効果検証</p>	<p>和佐又山のリニューアルオープンにより、新型コロナウイルス感染症により減少した来訪者を効果的に回復させるため、様々な検討、準備を行った。</p> <p>オープン後の令和5年10月の予約状況は174件、421人（令和5年10月13日時点）であり、和佐又山のポテンシャルの高さを感じることができた。目標達成に向けて、引き続き運営者と連携を行う。</p> <p>飲食、物販、雇用の場の確保という点からも、村内経済への好影響も期待できる。</p>
<p>有識者（住民代表者） による効果検証</p>	<p>近隣自治体とは異なる魅力があるキャンプ場であり、今後の賑わいに期待したいが、その賑わいが継続するように、効果的な情報発信が必要と考える。上北山村は、観光地等の賑わいが地元には伝わりにくい位置関係を有しているため、その賑わいを積極的に地元にも情報発信されたい。また、営業にあたっては、火の不始末やゴミの放置等がないよう、充分留意されたい。</p>

事業費（円）		令和4年度
予算額		11,950,000
決算額		11,950,000
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	11,773,306
	その他財源（ ）	0
	一般財源	176,694

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	上北山村事業復活支援金	
担当課	企画政策課	
事業概要	新型コロナウイルス感染症や昨今の原油価格・物価高騰等の影響により、売上が著しく減少し、経営に深刻な影響が生じている村内の事業者に対し、上北山村事業復活支援金を交付し、事業継続を支援する。	
成果目標	支援事業者の事業継続率100%（令和4年度末時点）	
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●申請期間：令和4年10月3日～令和4年11月30日 ●給付完了：令和4年11月25日 ●支援対象：国の事業復活支援金を受給しており、その給付額を上回る売り上げ減少が生じている村内の事業者11者 ●合計支援額：1,600千円 	
担当課による効果検証	新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰が長期化する中、支援した事業者の事業継続率が100%であることから、本支援金が、売上が著しく減少し経営に深刻な影響が生じている村内の事業者の事業継続に繋がったと考える。	
有識者（住民代表者）による効果検証	人口減少や高齢化に伴い、事業者数も減ってきている中、経営に苦しむ事業者の事業継続に対し支援がなされ、その事業者が事業を継続していることは大変意義深いと考える。	
事業費（円）		令和4年度
予算額		2,200,000
決算額		1,600,000
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,576,342
	その他財源（ ）	0
	一般財源	23,658

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	図書カード配布事業
担当課	教育委員会
事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、子どもたちが自宅で過ごす時間が以前より多い状況が続く中、その時間を学習機会や読書に親しむ機会として活用してもらうため、1万円の図書カードを0歳～15歳（中学3年生）までに配布する。
成果目標	コロナ禍での在宅生活への対応として、0～15歳の18名へ図書券を配布する。
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●配布対象：0歳～15歳で令和4年8月8日に住民基本台帳に登録されている者（18名） ●配布内容：1万円分の図書カード ●配布方法：郵送（簡易書留） ●事業額：図書カード購入費 1万円×18名＝180千円 配布事務費（役務費）2,914円 合計 182,914円
担当課による効果検証	令和4年12月19日付で図書カードを配布した全世帯に対し、利活用状況・効果を検証するためのアンケートを実施したところ、10世帯中8世帯より回答があった。回答のあった全対象者が図書カードを利用しており、購入内容は、絵本を始めとした学習参考書等様々で図書以外のものでも知育につながるもの、自宅時間を充実させ親子のふれあう機会につながるものが多い。自由記入欄では「自分で本を選び購入したため積極的に勉強に取り組んでくれた」「絵本に興味を持って読書する機会が増えた」等の記載もあり、感染拡大防止のため自宅で過ごす時間を充実させるという目的を達成できたのではないかと考える。

有識者（住民代表者） による効果検証	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により子どもたちの過ごし方も変化したが、アンケート結果から、本事業が自宅での過ごし方をより有意義にする支援だったと考える。	
事業費（円）		令和4年度
予算額		184,000
決算額		182,914
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	180,209
	その他財源（ ）	0
	一般財源	2,705

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	会議用大型テレビモニター整備事業	
担当課	総務課	
事業概要	新型コロナウイルス感染症対策として、使用頻度の高い会議室へ大型テレビモニターを設置することで、遠隔での会議の実施や会議資料表示によるペーパーレス化を推進し、直接接触の頻度を低下させることにより、感染機会の削減を図る。	
成果目標	大型テレビモニターを使用した会議実施回数 20回 会議参加者内での2次感染0	
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●購入品：65型4K液晶テレビ2台、モニタースタンド2台、ワイドレンズWEBカメラ・卓上スタンド2台、会議用スピーカーフォン2台 ●納品日：令和4年11月18日 ●使用実績：令和4年11月－3回、12月－5回 令和5年1月－3回、2月－3回、3月－6回 	
担当課による効果検証	令和4年11月18日納品から令和5年3月31日までの間に20回使用し、大型モニターにより会議参加者間の遠距離に配置できたこと及び資料投影による直接接触の頻度を低下させたことにより、感染機会の削減に寄与したと考える。	
有識者（住民代表者）による効果検証	小さな画面を密集して見る必要がなくなり、感染リスクを少しでも軽減できることは、今後会議の開催が増加することが予想される中でも安心感があると考ええる。	
	事業費（円）	令和4年度
	予算額	635,000
	決算額	515,020
決算額の財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	507,405
	その他財源（ ）	0
	一般財源	7,615

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

事業名	重点交付金活用生活応援商品券追加発行事業 物価高騰対応生活応援商品券追加発行事業 生活応援商品券追加発行事業									
担当課	住民課									
事業概要	コロナ禍において物価高騰に直面する状況において、年度当初に比べ、さらに高騰が続いていることを踏まえ、期間を定めて使用できる地域振興券を追加で交付することにより、住民生活の維持だけでなく、村内における消費拡大による地域経済の活性化を図る。									
成果目標	住民生活の維持及び地域経済の活性化を図る。執行率99%を目標とする。（令和3年度同事業執行率97%）									
事業実施内容	<p>【対象者】 令和4年10月27日（基準日）に、村内に住民基本台帳に登録されている者。</p> <p>【利用期間】 令和4年11月1日 ～ 令和5年1月31日</p> <p>【取扱店舗換金期間】 令和4年8月1日 ～ 令和5年2月17日</p> <p>【取扱店】 15件（宿泊施設3件、食品・日用品4件、加工食品・飲食3件、自動車関連2件、温泉1件、その他2件（美容室・森林組合）</p> <p>【発行額】 9,180,000円（459人×20,000円）世帯数 295世帯</p> <p>【換金実績】 9,131,500円 未換金 48,500円 換金率 99.5%</p> <p>【事業費内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>商品券印刷代</td> <td>予算額409,000円</td> <td>決算額408,430円</td> </tr> <tr> <td>レターパック購入代</td> <td>予算額172,000円</td> <td>決算額153,400円</td> </tr> <tr> <td>商品券換金代</td> <td>予算額9,200,000円</td> <td>決算額9,131,500円</td> </tr> </table>	商品券印刷代	予算額409,000円	決算額408,430円	レターパック購入代	予算額172,000円	決算額153,400円	商品券換金代	予算額9,200,000円	決算額9,131,500円
商品券印刷代	予算額409,000円	決算額408,430円								
レターパック購入代	予算額172,000円	決算額153,400円								
商品券換金代	予算額9,200,000円	決算額9,131,500円								

<p>担当課による 効果検証</p>	<p>2回目は、コロナ禍における物価高騰に直面している村民生活への支援また地域事業者への支援を行う為、全村民対象に商品券の配布を実施した。発行額全体の99.5%、総額 9,131,500円が村内で消費され、当初設定した成果目標を達成し、村民の生活負担軽減としては一定の効果があったと考える。</p> <p>また、年間を通して1千6百万円あまりの村内消費喚起が目に見えて行えた事についても、村内事業者に対する支援として効果があったことが窺える。</p>	
<p>有識者（住民代表者） による効果検証</p>	<p>年度当初に比べさらに物価が高騰してただけでなく、地域の特徴として年末にかけて消費が拡大する傾向にある中、この時期に地域振興券が追加配布されたことは、地域の実情にあった追加支援であったと考える。</p>	
<p>事業費（円）</p>		<p>令和4年度</p>
<p>予算額</p>		<p>9,782,000</p>
<p>決算額</p>		<p>9,693,330</p>
<p>決算額の財源</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p>	<p>7,784,073</p>
	<p>その他財源（ ）</p>	<p>0</p>
	<p>一般財源</p>	<p>1,909,257</p>